



## 「戸定邸 1867 コンサート」の開催について

### 1. 「1867」の誕生

2008年に文化財の新たな魅力と役割を探求するため開始した戸定アートプロジェクトは、2015年11月、松戸クリスマス音楽祭実行委員会と連携し、新日本フィルハーモニー交響楽団（以降「新日本フィル」）メンバー8名を招聘しました。この時、戸定邸に秘められた壮大な歴史に触れた荒川洋氏により楽曲『1867（暫定版）』が誕生しました。『1867』というタイトルには戸定邸の建設者・徳川昭武がパリ万博に参加した西暦、大政奉還が行われた西暦のイメージが投影されています。歴史が音楽に変換され、翌年のコンサートでは20分を超える大曲にまで成長しました。

### 2. 生きている楽曲

その後、CD制作を行い、パリ万博150周年となる2017年には関係機関と連携して、松戸市だけではなく、佐賀県、茨城県、都内の各地で多彩な主催者によるコンサートが開催されました（表1参照）。

そして、この楽曲の歴史的背景と豊かな音楽性を伝えるため、荒川洋氏により語り付きの『1867』が2018年11月に戸定邸で演奏され、今年6月には新日本フィルの公演・室内学シリーズにおいて同氏プロデュースの「歌劇『1867～幻の將軍～』より（抜粋版）」がすみだトリフォニーホール・小ホールで演奏されました。文化財と音楽家の出会いは、刻々と成長、変化、深化しているのです。

### 3. 今回コンサートのポイント

11月24日の当該コンサートでは、室内楽シリーズとは編成を変え、アンサンブルの精鋭8名に加え、バリトン歌手の大山大輔氏を招聘して、歴史と音楽の出会いの旅を続けます。同時開催されている企画展「1867年万博使節団の明治―サムライたちの選択―」（12月22日まで）と共にお楽しみください。

### 4. 「戸定邸1867コンサート」の概要

- ◆日時 11月24日（日）11時～11時40分、13時～13時40分
- ◆会場 戸定邸表座敷棟
- ◆出演 荒川洋（作曲・フルート）、ビルマン聡平（ヴァイオリン）、松澤舞（ヴァイオリン）、吉鶴洋一（ヴィオラ）、マルコス・ペレス・ミランダ（クラリネット）、弘田徹（チェロ）、菅沼希望（コントラバス）、中里ゆきの（パーカッション）、大山大輔（ナレーションと歌）



- ◆**曲目** 荒川洋：『管弦劇《天の赦すところ》より宇和島序曲』、歌劇『1867～  
幻の将軍～』抜粋版 他
- ◆**申込** 不要。直接会場へ。
- ◆**費用** 戸定歴史館・戸定邸入館料  
(共通入館券一般320円など)



表1 『1867』演奏記録

年	月	日	楽曲	編成	会場	主催者
2015	11	29	暫定版 1867	管弦楽 8 人編成	戸定邸	戸定歴史館
2016	11	27	1867	管弦楽 8 人編成	戸定邸	戸定歴史館
2017	7	23	ピアノ版 1867	ピアノ	青淵文庫	渋沢史料館
	9	23	ピアノ版 1867	ピアノ	佐賀城本丸御殿	佐賀城本丸歴史館
	10	1	1867	管弦楽 8 人編成	佐賀城本丸御殿	佐賀城本丸歴史館
	10	28	1867 のアレンジ	2 人編成	マグノリアハウス (ゆいの花公園内)	公園緑地課
	11	18	ピアノ版 1867	ピアノ	旧水海道小学校	茨城県立歴史館
	11	10	1867	管弦楽 8 人編成	日仏会館ホール	日仏会館・ 松戸市教育委員会
	12	8	1867 完全版	管弦楽 8 人編成	戸定邸	戸定歴史館
2018	12	7	ピアノ版 1867	ピアノ	市民劇場	松戸クラシックを楽 しむ会
	12	9	1867 語り付	9 人編成	戸定邸	戸定歴史館
	12	28	1867	管弦楽 8 人編成	ドルチェ楽器(新宿)	荒川洋
2019	6	26	歌劇 1867 抜粋版	6 人編成	すみだトリフォニー ホール・小ホール	新日本フィルハーモ ニー交響楽団
	11	24	歌劇 1867 より抜粋	9 人編成	戸定邸	戸定歴史館

【問い合わせ先】

生涯学習部戸定歴史館 ☎ 047-361-0056